

どよめいてきたら、策定したの？

策定にあたっては、幅広い市民参加を念頭にワークショップ等の新たな手法を取り入れ、多数のご意見を得ながら作業を行ってきました。また、ホームページや議会で情報提供に努め、策定経過をお知らせしてきました。

①市民ワークショップ

「たく未来会議」の開催

市民から参加メンバーを募集し、平成21年12月9日を初回に『たく未来会議』を開催。39人のみなさんと全5回のワークショップ(会議)を通じ、新しいまちづくりの方向について、意見・提言をまとめていただきました。

②アンケート調査結果からみた市民ニーズ

本計画の策定にあたって、平成21年10月、18歳以上の市民2,000人を対象に市民意識調査を行いました。



▲ワークショップで議論を重ねる参加者

有効回収数は613票、有効回収率は30.7%で、「健康・福祉」、「子育て・教育」、「快適住環境」などが今後の重点として挙げられました。また、商業振興や雇用対策に対する優先度や定住対策の重要性も把握することができました。

③各種団体にアンケートを実施

市内の各種団体(203団体)の代表者を対象に記述式のアンケートを行い、これからのまちづくりへの意見・提案などを収集してきました。これらの意見を本計画の基本構想・基本計画の全体にわたって参考としました。

④総合計画審議会

各種団体の代表や公募の委員で構成する『多久市総合計画審議会』(藤田和彦会長)を発足。5回にわたる審議を重ねてきました。審議の

結果、「この総合計画を市民、事業者、行政の共通指針として周知を図り、市職員や市民の意識改革、協働の仕組みづくりを早急に進める必要がある」との意見が附されて11月19日、市長に答申がなされました。

これからの方針は??

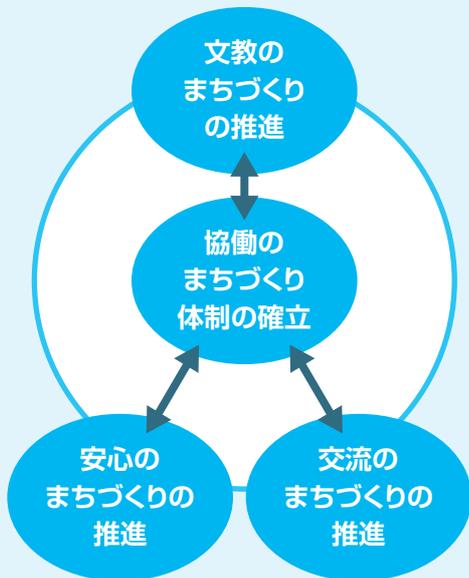
地域の特性と時代の潮流、市民の思いから地域課題を見据え、今後10年間の計画的な行政運営を進めていくための方針として、本市の目指す将来像を「一緑園に輝くー みんなで創る 文教・安心・交流のまち 多久」と定めました。

「周囲を緑豊かで生物多様性あふれる緑の庭園のイメージにふさわしい環境で、地域としてキラリと輝き、人々が個性や才能を伸ばし輝くまちを目指します。それを実現するため

【目指す将来像】  
一緑園に輝くー  
みんなで創る

文教・安心・交流のまち 多久

【施策の方向性イメージ図】



【目指すまちづくりの効果】

- ①交流・定住人口増加の実現
- ②誰もが安心して暮らせるまちの実現
- ③市内地域産業の活性化実現
- ④若年層を中心に市内定住者の定着率アップの実現
- ⑤市民と行政と議会による協働のまちづくり推進の定着

に「文教」、「安心」、「交流」のまちを充実促進し、市民と行政が一緒になっていくという想いを込めました。多久の特性・資源を最大限に生かし、さらに磨き上げながら、すべての市民が力を合わせて「私のふるさと」として自信を持って誇れるまちを創造していきます。

この将来像に向けて、左のイメージ図のように、中心に市民と行政が一体となって取り組む「協働のまちづくり体制」を確立します。そして、「文教のまちづくり」の推進と、住みたい・行ってみたい・誇れる「交流のまちづくり」の推進、市民のための「安心のまちづくり」の推進に取り組んでいきます。

■問い合わせ 総務部 経営統括室  
企画経営係 ☎75-12116

■第4次多久市総合計画の詳しい内容は、3月に配布予定の『概要版』をご覧ください。